

クラス	314	担当教員	篠原 眞紀子
テーマ	音・音楽～つながって～循環する環境へ～インクルーシブな社会へ		
著書・論文 研究課題等	<p>研究課題：環境・社会の循環性にリンクする音・音楽</p> <p>研究領域：音楽教育・音楽学・教育社会学</p> <p>著書：単著『人と成ること——恵那地方の地域生活運動』晃洋書房.2021年</p> <p>共著出版：『3コードでOK.なるほどかんたん！リズム曲集——保育・教育現場で楽しく弾けてすぐに役立つ』2015年，サーベル社. 『なるほど！バイエル』1巻，2巻，2009年，サーベル社.</p> <p>単著論文：「小学校音楽科における日本伝統音楽のカリキュラム構想—自国文化への感性を培う教育のスタートラインとして」『国際研究論叢』第35巻第3号 pp.175-196. 2022年.</p> <p>「初等教育におけるインクルーシブ教育に向けて——歌唱共通教材の分析と授業構想による提言」『関西楽理研究』第35号，2020年，63-84.</p> <p>共同研究：「音楽の気付きから能動的表現へ——最重度知的障害・レベル3の自閉症スペクトラム症・難聴の重複障害のある人との活動から——」『重複障害における感覚を生かした活動の実証的研究』科研 18K02442 報告書より分担執筆.鳴戸教育大学大学院人間教育専攻心理臨床コース障害科学領域 pp.3-25.2022年</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：サウンド・エデュケーション，歴史を紡ぎ传承する日本伝統音楽，インクルーシブな音楽教育			
800～1200字程度			
目的 環境，教育，福祉，社会を視点において，音・音楽の可能性を追求する。			
方法とその内容			
<p>宇宙や地球の中で音が存在し，人間は音を音楽として創り出してきました。そして，音楽は社会の中で伝えられ，歴史性をもつ传承音楽であったり，また新たにクリエイティブが創り出されてきました。</p> <p>さまざまな生活の営みの中で，地域では民俗音楽が，芸術家によって芸術音楽が存在しています。そして，時に生きる糧となってきました。日本における学校教育の中では，一般的な受験科目でないために，弱小化されその価値さえも蔑まれていることは否定できません。</p> <p>しかしながら，今一度，環境，教育，福祉，社会を軸にして，音や音楽を考えてみたいと思います。</p> <p>演奏を主にしたい人，音楽を活用して何かを求めたい人，このゼミでは固定的な音楽の教材だけに偏らず，ジャンルも問わず，音・音楽について考えていこうとする人を受け入れます。</p> <p>また，大学院の一部で社会学（主に教育社会学・地域社会学）を専攻してきた経緯から，音楽に限らず，教育社会学をやっていききたいという人も受け入れます。</p>			
授業計画			
3年前期			
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを議論し合いながら深める *各自がやってみたい実践やフィールドワークの後押しをします。 ○テーマ周辺の先行研究の購読，○実践活動の見学 ○実践したい活動の連携づくり。 ・実践やフィールドワークに必要な準備 —音楽実践を希望する人は実技力の習得をサポートします。 —実践記録・フィールドワークのアーカイブ化。 			
3年後期			
<ul style="list-style-type: none"> ・実践／フィールドワーク 地域の传承音楽や传承学習の取材に出ます。地域のみなさんとワークショップやコンサートを行います。 ・共同活動を各自の卒論課題研究の方法に活かす検討をしていきます。 			
4年次は卒論研究を中心におこないます。			
<ul style="list-style-type: none"> ・中間に構想発表会を行い，仕上げまでの感触を確かめて現実的な計画を立て直します。→卒論発表 			
担当教員からのメッセージ			
音楽に関心のある人，教育社会学に興味のある人はこのゼミの門をたたいてください。卒論に向けてサポートします。			